



子供も大人も笑顔があふれる学校へ

副校長 武内 伸輔

今日から12月に入りました。「1年間を振り返って」という話題が聞かれる時期です。

学校での今年の出来事を振り返ってみると、金山往訪や飯山、日光、御殿場の宿泊学習などコロナウイルス感染症の拡大で2年間実施できていなかった行事を全て実施でき、子供たちの笑顔がたくさん見られました。実施にあたり2年前に行ったことをそのまま行うのではなく、感染症対策を取り、新しい形で行えたことも大きかったと感じています。

同時にコロナ禍の2年間で新たに行ってきたICTを活用した教育活動もさらに推進し、「個に応じた学習と個の学びを全体の学びにつなげる学習活動(個別最適な学び、学習協働的な学び)」や「どの児童にも学習の機会が与えられる環境整備(オンライン授業、ユニバーサルデザインを取り入れた授業)」に取り組んできました。



タブレットを使って発表の準備

特に区の施策である学校DX化の1つとして児童用デジタル教科書の導入があります。

3年生以上の学年では国語と算数、5年生以上では、それにプラスして書写と外国語で児童用デジタル教科書が導入され、それを活用した授業にも取り組んできました。授業では、高学年になるにしたがって、学習内容によって児童自身が紙の教科書やノート、デジタル教科書、タブレットを選択したり、併用したりしながら学習を進めている様子が見られます。今後の社会生活に必要な「デジタル・シティズンシップ(デジタル技術の適切な利用を通して、自ら判断して、社会に積極的に関与し、参加する能力)」の習得に向かっていることを実感します。



デジタル教科書とノートのハイブリット

コロナ禍で様々なことが変化し、対応をしてきたことが、よりよい新しい形で行えるようになってきたことが大きな進歩です。来年も引き続き「子供にとってより良いことは何か」を考え、スクラップ&ビルドの視点で考え「子供も大人も笑顔があふれる学校」をつくっていきます。

保護者の皆様にも1年間の学校の教育活動の評価をいただく時期となりました。今年度は評価項目についてICTについての質問項目などが加わっております。Home & Schoolを活用してのアンケート実施となります。「子供も大人も笑顔があふれる学校」について、保護者の皆様の評価を頂き、今後の教育活動に生かしてまいります。



自分の調べたことをグループで共有しています。

また、いよいよ12月9日(金)、10日(土)に音楽会が開催されます。廊下を歩いていると練習を始めた当初より上手になった歌声や楽器の演奏が聞こえてきます。今回は感染症対策として前半(1~3年生)後半(4~6年生)と分散して鑑賞していただくこととなります。

子供たちの練習の成果をぜひ聴きにいらしてください。よろしくお願いいたします。